

特選神名牒

阿波國五十座

大 四三座
小 四十七座

○板野郡四座

大 一座
小 三座

大麻比古神社

大神

祭神 大麻比古神

今按一宮記神名帳頭註に大麻比古神社猿田彦神とあれ
疑はし古史傳に此社は大麻山と云ふに在りと云り然れば
大麻と云るは麻を殖たる由にて山名も此謂れによりて
負る所と思ゆ出雲風土記青幡佐草日古命於高麻山之上
其御魂坐也又此神之坐處於今云大草と云る故事をも思
ひ合すへしまた式に勝浦郡に阿佐多知比古神社とあるも
此神なるへしさて天日鷲命ならんと云るは古語拾遺に令
天日鷲神津咋見神穀木種殖以作白和幣物是木綿也已上二と
あるによりての説なるへけれと安房忌部系圖に天日鷲命
の子大麻比古命又名津咋見命ともみえたるによらは津咋
見命ならん歎猶よく考ふへし
神位 清和天皇貞觀元年正月廿七日甲申奉授阿波國從五位
下大麻比古神從五位上同九年四月廿三日阿波國從五位上
大比古神授正五位上陽成天皇元慶二年四月十四日己卯授阿

波國正五位上大麻比古神從四位下同七年十一月甲子朔授阿
波國從四位下大麻神從四位上

祭日 九月十二日

社格 國幣中社

所在 板東村 大麻 (板野郡板東村大字板東)

鹿江比賣神社

祭神 鹿江比賣神

今按阿波國式社略考に祭神草野姬神と云るは鹿江と音近
きによりての附會なれば信かたし安房忌部系圖に大麻比
古命の女子鹿江比賣命今千貝大神是也とあるは此神なら
ん歎もし然らば此に由あるへし
神位 陽成天皇元慶七年九月五日戊辰授阿波國從五位下鹿
江比賣神從五位上

祭日

社格

所在

今按阿波國式社略考に大麻社行在所の東平林中にあり舊
地は一町餘りの南なりしに寛政の頃洪水にて今の地に迂
されしなりと云ものは彼の草野姬神の所在をさすなるへ
し

宇志比古神社

祭神

祭日

社格

所在

今按式社略考明細帳並に板東村にありて牛宮と云是なり
と云りされと大谷村八幡宮ならんと云ふは阿波國板野
郡村上郷延喜二年戸籍と云ものに戸主物部廣成年添拾陸
歳とある次の文に弟物部子益年肆拾壹歳宇志祝部と見え
今新喜來村と云所に田のうへと云ふ字あり大はうり居や
しきと云地もあり但し此地今は川となれ共古き檢地帳に
しか見えさて程遠からぬ大谷八幡宮は昔此邊りより今の
山手にすて迂し祀りし社なりと云ひまたかの社前に今ほ
うりかかとと云地もありなほ新喜來村の隣にうしやしまこ
云村もあればかたかたすて置難しとの考へなりこの説由
ありて聞ゆれば能く訂さまほしき事なり

岡上神社

祭神

今按式社略考に祭神豐宇氣毘賣神にてウケテカ通音毘を
省き賣上は横通なりと云れと豐宇氣神を豐岡姫神とも申
すより岡上ミヲカノメ音の似たるを以て考へたる説なれ
はとりかたし土佐長岡郡に豐岡上天神社ありて置宇氣姫
命なりと云るも之に同じ合せ考へし又名東縣式社考證に

阿波國 阿波郡

祭神 建布都神

祭日

社格

所在

○阿波郡二座

祭神 建布都神

今按大寺村に今なほ岡の下と云地名ありさるは乎加神の
ます所なれば岡といひしを上下に別て岡上岡下と云しに
はあらしか社の坐す一傍系を岡ノミヤさいへるをも思ふ
へし又古き童謡に正月さまはどこまで。板東山のすそま
で。弓を杖につきはこ板を腰にさし。あつき餅こぶるこ
ぶる御出なさる。さうたひしもこの神の事にてかたがた
思ひ合はさるるなり

祭日

社格

所在

今按大寺村に今なほ岡の下と云地名ありさるは乎加神の
ます所なれば岡といひしを上下に別て岡上岡下と云しに
はあらしか社の坐す一傍系を岡ノミヤさいへるをも思ふ
へし又古き童謡に正月さまはどこまで。板東山のすそま
で。弓を杖につきはこ板を腰にさし。あつき餅こぶるこ
ぶる御出なさる。さうたひしもこの神の事にてかたがた
思ひ合はさるるなり

宇志比古神社

祭神 建布都神

祭日

社格

所在

今按大寺村に今なほ岡の下と云地名ありさるは乎加神の
ます所なれば岡といひしを上下に別て岡上岡下と云しに
はあらしか社の坐す一傍系を岡ノミヤさいへるをも思ふ
へし又古き童謡に正月さまはどこまで。板東山のすそま
で。弓を杖につきはこ板を腰にさし。あつき餅こぶるこ
ぶる御出なさる。さうたひしもこの神の事にてかたがた
思ひ合はさるるなり

建布都神社

祭神 建布都神

祭日

社格 村社

所在 郡村(阿波郡土成村大字郡)

今按本社所在香美村の平地權現なりとて舊徳島藩に定め

七六九